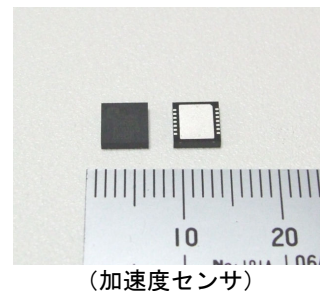


■特徴

- ・ DFN14 ピンのピッチ変換基板です。
- ・ 専用ゼロプレッシャーソケットを使用していますので、何度でも抜き差しできます。
- ・ カイオニクス製加速度センサに適合します。(適合型番は下記)
- ・ センサアプリケーションの試作、センサの選別に最適です。
- ・ 基板サイズ：約 4.3 x 5.3 mm

■仕様

対応 I C	DFN14 タイプ ※カイオニクス加速度センサの下記シリーズ ・ KXP74 ・ KXP84 ・ KXPA4 ・ KXP94 ・ KXR94 ・ KXPC4 シリーズに適合 (2008.5 月現在) ※KXM52 シリーズは厚さ 1.8mm のため適合しません。
I C サイズ	5.0×5.0×1.2mm
I C ピン間	0.5mm
基板サイズ	約 4.3 x 5.3 mm
鉛フリー	適合していません



(加速度センサ)

※使用にあたり巻末の使用上の注意をよく読んでお使いください。



ソケット	DFN14 ピン専用ソケット
基板	ガラスエポキシ両面基板 (FR4)
チェック端子	各色 1 個ずつ
ゴム足	4 個

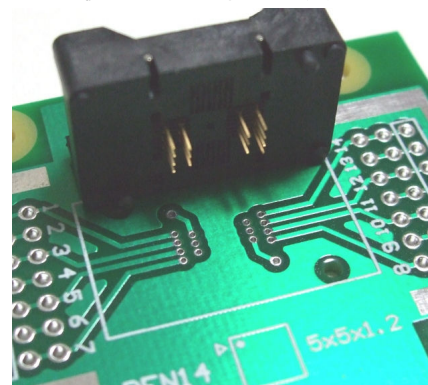
■組み立て方

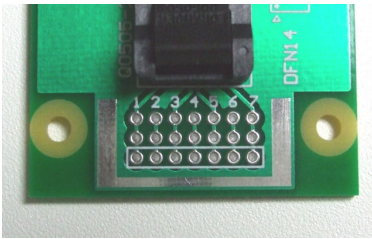
このソケットは基板にハンダ付けされておりませんので、お客様がハンダ付けしてお使いいただく商品です。

(1) 付属のソケットを基板にハンダ付けします。

- ・ このソケットは左右対称となっていますので向きはありません。
- ・ 基板には部品面・ハンダ面がありますのでピン番号等が印刷してある側にソケットをハンダ付けしてください。
- ・ ピンが細いため 14 本全てが基板に貫通しているか確認してからハンダ付けしてください。

(2) ソケットの 14 本のピンが基板から若干出ますので不安定です。基板の四隅にゴム足を貼っていただくと安定します。





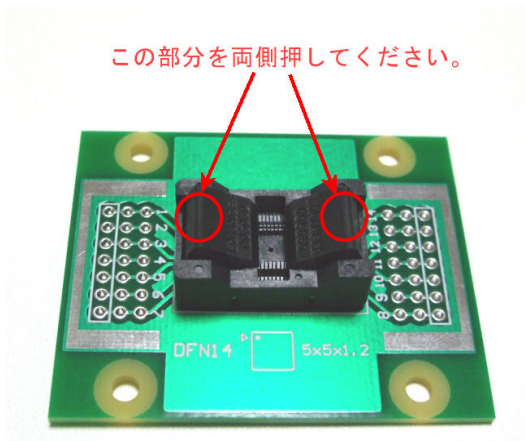
14ピンは独立して2.54mmのグリッドに引き出されています。それぞれ3つの穴を設けていますので、オシロのチェック端子やコネクタなどを取り付けてお使いいただけます。

外周はベタアースとなっていますので、グラウンドや電源などとしてお使いいただけるようになっています。ベタアースはICの14ピンのどれとも接しておりません。また部品側とハンダ側のベタアースは接しておりません。端子付近にハンダ付けできるよう、コの字型のランドを設けていますのでそこを利用してグラウンドと接続したり、バイパスコンデンサをつけたりすることができるようになっています。

■使い方

(1) フタを開ける

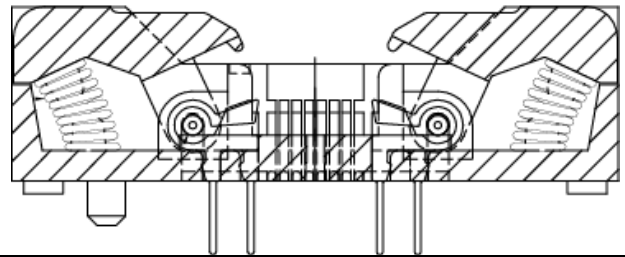
両側のレバーを押すと中央部分がわずかに開きます。



(2) デバイスを挿入する

レバーを押したままピンセットなどでICを挿入してください。斜めに入ると反対側が浮いてしまいますので、水平に入れてください。

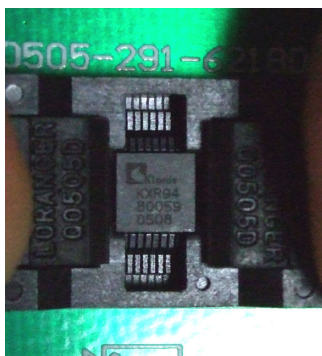
パッケージが正方形ですので、どの向きにも入ってしまいます。向きに注意してください。左上が1番ピンとなるように挿入します。



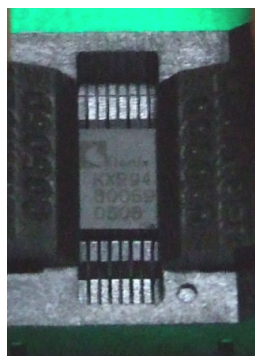
3) レバーを閉じる

レバーから手を離すとデバイスが固定されます。

開いた状態



閉じた状態



(4) デバイスの取り出し

最初と同様に両側のレバーを押してデバイスを取り出します。ピンセットで取り出してください。ピンセットが入るよう両側が少し開いています。

■使用上の注意

- ・ IC中央部分のパッドは本変換基板では配線されませんのでご了承ください。
- ・ ソケットや基板の接触抵抗・浮遊容量が僅かにありますので、高精度のアナログ回路や高周波回路で使用すると、これらが問題となりICの性能を100%生かせない場合があります。ソケットで抜き差しが容易になる半面、ICの性能を犠牲にすることがありますので予めご了承ください。
- ・ 本キットはエンジニアの方を対象にした製品です。本製品をお使いになるにはある程度の電氣的知識を必要とします。・ 本モジュールを使用したことによる、損害・損失については一切補償できません。
- ・ 製造上の不良がございましたら、良品とお取替えいたします。それ以外の責についてはご容赦ください。

Copyright © 2008 Strawberry Linux Co.,Ltd.

有限会社ストロベリー・リナックス 2008年5月7日 第1版